

# 平成29年度事業報告書

〔 自 平成29年4月 1日  
至 平成30年3月31日 〕

公益財団法人 人工知能研究振興財団

平成29年度における経済情勢は、海外における不安定な政治情勢等から先行きに不透明感はあるものの、企業収益や雇用情勢の改善、輸出の拡大等を背景に景気は緩やかな回復基調が続きました。

人工知能やIoTといったデジタル革命で働き方自体が大きく変わり、情報通信技術の発達で、以前には考えられなかったビッグデータの利用が可能になりつつあります。

一方、人工知能などIT(情報技術)分野での研究投資は米国勢を中心とした第4次産業革命が進む中、研究開発の遅れが日本の産業競争力を損ないかねない状況です。

こうした中で、当財団を取り巻く環境は、超低金利の中で厳しい運営を余儀なくされていますが、設立当初から実施しています研究助成事業の継続的实施に加えて、研究促進支援のため、相談・助言事業実施の体制整備及び実現に努めました。

## I. 事業の概要

平成29年度の事業計画に基づき、次の事業を行った。

### 1. 人工知能の研究に対する助成

#### (1)人工知能研究助成金の交付

##### ① 研究対象分野

- ・人工知能に関する調査、研究及びその利用技術の開発
- ・人工知能関連技術の高度化に関する研究・開発

② 募集期間 平成29年7月1日～平成29年9月30日

③ 審査委員 名古屋大学名誉教授 稲垣 康善 氏 ほか11名

④ 審査委員会 第1回審査委員会 平成29年 4月27日  
第2回審査委員会 平成29年10月11日  
第3回審査委員会 平成29年11月17日

⑤ 助成金の総額 500万円

内 訳	応募		助成	
	件数	要望額(万円)	件数	助成額(万円)
大 学	47	4,640	10	500
企 業	1	100	0	—
合 計	48	4,740	10	500

⑥ 研究助成金交付先・研究テーマ及び助成金額 (別紙)

2. 人工知能に関する講演会、シンポジウム、セミナー等の開催

以下について、関係機関とも連携・協力を図り、開催形態として後援、協賛、協力、実行委員会組織等により実施し、事業の充実に努めた。

(1) 講演会・研究助成金交付伝達式

◇「第26回人工知能研究発表講演会」

(併催:平成29年度人工知能研究助成金交付伝達式)

・日 時 平成29年12月1日(金)13:30~19:00

・会 場 今池ガスビル 7階ダイヤモンドルーム

① 平成29年度人工知能研究助成金交付伝達式

② 平成29年度人工知能研究助成対象者による研究内容・目標の発表

③ 特別講演

タイトル:「人工知能技術のデジタルゲームへの応用の現在」  
 講師:株式会社 スクウェア・エニックス テクノロジー推進部  
 リードAIリサーチャー 三宅 陽一郎 氏

④ 参加者数:講演会等 44名、交流会 27名

◇「第22回人工知能研究成果発表会」

・日 時 平成29年9月20日(水) 13:30~16:20

・会 場 今池ガスビル 7階 プラチナルーム

① 発表者 4名

② コーディネータ 名古屋工業大学 名誉教授 伊藤 英則 氏

③ 参加者数:26名

◇「第23回人工知能研究成果発表会」

・日 時 平成30年3月28日(水) 13:20～16:00

・会 場 今池ガスビル 7階 プラチナルーム

① 発表者 6名

② コーディネータ 名古屋工業大学 名誉教授 伊藤 英則 氏

③ 参加者数:38名

(2)実行委員会による事業

<ロボットシンポジウム2017名古屋>

テーマ : 「人と共生するAIとロボットの今とこれから」

① 開催日時:平成29年11月15日(水)～17日(金)

(次世代ものづくり基盤技術産業展 TECH Biz EXPO 2017 と同時開催)

② 会 場:名古屋市中心企業振興会館(吹上ホール)

(名古屋市千種区吹上 2-6-3)

③ 主 催:ロボットシンポジウム2017名古屋 実行委員会

構成団体:愛知県、名古屋市、(公財)栢森情報科学振興財団、

(公財)名古屋産業振興公社、(公財)人工知能研究振興財団、

ヒューマンロボットコンソーシアム

④ 後 援:経済産業省中部経済産業局、(一社)中部経済連合会、

名古屋商工会議所

⑤シンポジウム(講演)

《開催日 平成29年11月15日(水) 参加者数 103名》

【プログラム】

◆開会挨拶

ロボットシンポジウム2017名古屋実行委員会 委員長

ヒューマンロボットコンソーシアム 会長

名古屋大学・豊橋技術科学大学 名誉教授 稲垣 康善 氏

司会・コーディネータ : 名古屋工業大学 名誉教授 伊藤 英則 氏

◆基調講演

タイトル:「人工知能が拓く次世代のロボット」

講師:国立研究開発法人 産業技術総合研究所 フェロー

人工知能研究センター

研究センター長 辻井 潤一 氏

◆講演 1

タイトル:「質問応答から知的エージェントへ」

講師:名古屋大学大学院情報学研究科 価値創造研究センター  
センター長 教授 武田 浩一 氏

◆講演 2

タイトル:「世界の産業用ドローン市場の現状と未来」

講師:株式会社 プロドローン

代表取締役社長 河野 雅一 氏

◆講演 3

タイトル:「人と共生するロボットには何が必要か」

講師:中京大学 工学部 機械システム工学科

教授 加納 政芳 氏

⑥ロボット実演展示 (TECH Biz EXPO 来場者数 延べ 13,582 名)

《開催日 平成29年11月15日(水)～17日(金)》

ロボットメーカー、大学、研究機関及び地方自治体が各小間の展示ブースに、それぞれロボット技術や製品を展示し、技術交流と商談を行った。

### 3. 人工知能に関する情報の収集・提供

情報提供事業の効果的方法として、ホームページの内容充実と適宜改良を行った。また、機関紙(AI Information)については、1月に発行し、財団の運営及び事業実施状況の周知に努めた。

### 4. 人工知能に関する相談・指導

公益財団法人への移行を機に「人工知能に関する相談・指導」事業の実施体制の充実を図っている。しかしながら、相談件数はまだわずかであり、今後は事業の広報活動がより必要とされる。

#### ◇研究開発・事業化等 支援・協力機関

(順不同・法人組織名省略)

- ・名古屋大学 ・名古屋工業大学 ・豊橋技術科学大学 ・愛知県立大学
- ・愛知工業大学 ・大同大学 ・中京大学 ・中部大学 ・名城大学
- ・産業技術総合研究所 ・新エネルギー・産業技術総合開発機構
- ・経済産業研究所 ・人工知能学会
- ・あいち産業科学技術総合センター ・名古屋市工業研究所
- ・経済産業省中部経済局 ・愛知県 ・名古屋市
- ・中小企業基盤整備機構 ・名古屋商工会議所

## II. 理事会の開催

第63回、決議の省略による決議及び第64回理事会を開催し、平成28年度事業報告及び収支決算並びに平成30年度事業計画及び収支予算等のほか、役員改選等に関する議案等について審議した。

### 1. 第63回理事会

(1)日 時 平成29年6月7日 13:00～14:00

(2)場 所 栄ガスビル 5階 ヴィーナスルーム

#### (3)審議事項

##### (決議事項)

第1号議案 平成28年度事業報告及び計算書類等の承認を求める件

第2号議案 事業報告等に係る提出書類の承認を求める件

第3号議案 審査委員の委嘱に関する件

第4号議案 平成29年度定時評議員会の招集の承認を求める件

##### [評議員会議案]

##### (決議事項)

第1号議案 平成28年度計算書類等の承認を求める件

第2号議案 理事の選任に関する件

第3号議案 評議員の選任に関する件

##### (報告事項)

(1)平成28年度事業報告の内容報告の件

(2)研究助成事業に関するアンケート調査結果について

第5号議案 事務局長の辞任に伴う後任者選任の件

##### (報告事項)

(1) 研究助成事業に関するアンケート調査結果について

(2) 職務執行状況報告の件

### 2. 臨時理事会(決議の省略による決議)

(1)決議あったものとみなされた日 平成29年7月18日

#### (2)提案事項

##### (決議事項)

第1号議案 評議員会の決議の省略についての決定を求める件

第2号議案 評議員会の決議事項について承認を求める件

### 3. 第64回理事会

(1)日 時 平成30年3月14日 10:00～11:00

(2)場 所 リンナイ株式会社 3F 第4応接室

#### (3)審議事項

##### (決議事項)

第1号議案 平成30年度事業計画(案)の承認を求める件

第2号議案 平成30年度収支予算(案)の承認を求める件

第3号議案 平成30年度資金調達及び設備投資の見込みの承認を求める件

第4号議案 「個人情報の適切な取扱いに関する基本方針」及び「個人情報取扱規程」の承認を求める件

第5号議案 資産運用規程の変更承認を求める件

##### (報告事項)

(1) 職務執行状況報告の件

### Ⅲ. 評議員会の開催

平成29年度定時評議員会により平成28年度事業報告、収支決算及び理事・評議員の改選、決議の省略による臨時評議員会により期中辞任に伴う理事の選任議案等について審議した。

#### 1. 平成29年度定時評議員会

(1)日 時 平成29年6月22日 14:00～15:00

(2)場 所 栄ガスビル 5階 ヴィーナスルーム

#### (3)審議事項

##### (決議事項)

第1号議案 平成28年度計算書類等の承認を求める件

第2号議案 理事の選任に関する件

第3号議案 評議員の選任に関する件

##### (報告事項)

(1) 平成28年度事業報告の内容報告の件

(2) 研究助成事業に関するアンケート調査結果について

#### 2. 臨時評議員会(決議の省略による決議)

(1)決議あったものとみなされた日 平成29年7月27日

#### (2)提案事項

##### (決議事項)

・評議員の選任に関する件

#### IV. 公益財団法人移行後の財団運営及び人工知能研究振興等事業のあり方について

公益財団法人は、「出捐者から公的に付託された資金によりその設立目的の達成のため、社会全般を受益者として、継続的に公益目的事業を適正かつより効率的、効果的に行う。」ことが求められている。

こうした中で、極めて厳しい財政状況のなかで、継続的に公益目的事業実施の維持・充実を図っていくため、財団の組織運営及び事業のあり方等について検討を始めた。これについては引き続き検討する。

## 平成29年度人工知能研究振興財団 研究助成交付対象研究一覧表

(単位：千円)

No.	申請者	研究テーマ	査定額
1	京都大学大学院 特定講師 橋本 勝文	弾性波の伝搬理論に基づく人工知能によるコンクリートの損傷評価システムの構築	500
2	鳥取大学大学院 工学研究科 准教授 西山 正志	物体側面の共起性を用いた位置・姿勢認識方式の開発	500
3	千葉工業大学 人工知能・ソフトウェア技術研究センター 主任研究員 吉川 友也	ラベル付きデータのない状況下におけるカテゴリ分類器の学習	500
4	大阪大学大学院 工学研究科 知能・機能創成工学専攻 准教授 杉原 知道	SLAM-SEAN による自律ロボットの未知環境内移動	500
5	名古屋大学大学院 工学研究科 助教 有泉 亮	応答曲面法に基づくマルチロボットによる効率的環境測定計画法	500
6	地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所 理事長 馬來 義弘	製品デザインのための造形コンセプト支援システムに関する研究	500
7	名古屋工業大学 工学研究科 電気・機械工学専攻 助教 佐藤 徳孝	深層強化学習によるレスキューロボットの不整地走行	500
⑧	静岡大学 工学部 機械工学科 准教授 小林 祐一	農業運搬用自律移動ロボットの環境認識のための特徴選択自動化	500
9	名古屋大学 未来社会創造機構 特任助教 赤井 直紀	推定結果の信頼度までを同時に推定する自動走行車両のためのロバストな自己位置推定法の構築	500
10	神戸市立工業高等専門学校 電子工学科 准教授 尾山 匡浩	深層学習による空撮画像からの SLAM に関する研究	500

・応募件数：48件（要望額：4,740万円）

・助成件数：10件（助成額計：500万円）

（注）○：産学（官）共同研究